

特別企画 : 第5回奈良県内企業メインバンク調査

南都銀行がシェア6割超、トップ堅守

～ 2位は大和信金、3位は奈良中央信金で社数・シェアともに伸長 ～

はじめに

小康状態にあった地方銀行再編の動きが再び活発化している。2021年1月に新潟県で第四北越銀行が、5月には三重県で三十三銀行が発足。10月には福井銀行が同一県内の福邦銀行を子会社化、12月に入っても、東海地区の中京銀行と愛知銀行が2022年にも経営統合することが明らかになった。

コロナ禍で中小企業が疲弊するなか、経営再建や事業承継、取引先の新規開拓など、経営の様々な場面で金融機関に求められる役割が増している。金利競争が長らく続くなか、金利以外の魅力を高める金融機関が企業の様々な問題解決を行うことで支持を得る方向へ舵を切っている。今後、メインバンクシェアに変化が起きる可能性がある。

帝国データバンク奈良支店では、2021年12月末時点の企業概要ファイル「COSMOS2」に収録されている奈良県下企業(13,090社)がメインバンクとしている金融機関について抽出し、集計した。なお、調査対象は全業種全法人で、個人経営も含む。同調査は2021年2月に続き5回目。

※ 本調査は「COSMOS2」に収録されている企業のデータであるため、各金融機関がメインとして取引している実数とは異なる。また、一企業に複数のメインがあるケースでは、企業が最上位として認識している金融機関を集計した。

調査結果 (要旨)

1. 県内ランキング

- ✓ 南都銀行がシェア61.5%でトップ
- ✓ 大和信金が2位、奈良中央信金が3位で続いた

2. 地域別シェア

- ✓ 「南都銀行」が全地域で50%を超えて首位
- ✓ 「大和信金」が5地域中2地域で2位
- ✓ 「奈良中央信金」は北西部エリアで2位、中部エリアで3位

3. 業種別シェア

- ✓ 主要7業種で「南都銀行」がトップ
- ✓ 「大和信金」が5業種、「奈良中央信金」が全業種、「奈良信金」が4業種で社数伸長

1. 県内ランキング ～ 南都銀行がシェア 61.5%でトップ ～

奈良県内の企業がメインバンクとして認識している金融機関は、「南都銀行」（奈良市）が8,045社、シェア 61.5%（前回調査時点 8,056社、シェア 61.7%）で、2位以下に大きく差をつけて首位を堅守した。3年連続で社数・シェアともに微減となったものの、奈良県内では引き続き圧倒的な存在感を示している。

県内に本店を置く金融機関では、「大和信金」（851社、シェア 6.5%）が2位、3位に「奈良中央信金」（808社、同 6.2%）、6位に「奈良信金」（389社、同 3.0%）が入り、いずれも4年連続で社数・シェアともに増加した。県外の金融機関では「関西みらい銀行」（181社、同 1.4%）が8位、「中京銀行」（119社、同 0.9%）が11位、「京都銀行」（116社、同 0.9%）が12位となった。都市銀行（メガバンク）では「りそな銀行」（626社、同 4.8%）が4位、「三菱UFJ銀行」（563社、同 4.3%）が5位、「三井住友銀行」（374社、同 2.9%）が7位、「みずほ銀行」（128社、同 1.0%）が10位と4行が上位10位以内に入った。

また、上位20金融機関の順位は、「京都銀行」が前年より10社増加したことで「紀陽銀行」を上回り、12位と13位の順位が入れ替わった。

メインバンク社数 上位20金融機関

順位	金融機関	2021年			2020年				2019年			
		社数	シェア	前年比	順位	社数	シェア	前年比	順位	社数	シェア	前年比
		(社)	(%)	(pt)		(社)	(%)	(pt)		(社)	(%)	(pt)
1	南都	8,045	61.5	▲ 0.27	1	8,056	61.7	▲ 0.26	1	8,082	62.0	▲ 0.34
2	大和信金	851	6.5	+ 0.10	2	835	6.4	+ 0.12	2	818	6.3	+ 0.14
3	奈良中央信金	808	6.2	+ 0.17	3	784	6.0	+ 0.10	3	770	5.9	+ 0.20
4	りそな	626	4.8	+ 0.00	4	624	4.8	+ 0.05	4	617	4.7	▲ 0.14
5	三菱UFJ	563	4.3	▲ 0.11	5	576	4.4	▲ 0.04	5	581	4.5	▲ 0.12
6	奈良信金	389	3.0	+ 0.04	6	383	2.9	+ 0.08	7	372	2.9	+ 0.10
7	三井住友	374	2.9	▲ 0.05	7	380	2.9	▲ 0.09	6	392	3.0	+ 0.02
8	関西みらい	181	1.4	▲ 0.01	8	182	1.4	▲ 0.04	8	187	1.4	-
9	奈良県農協	169	1.3	+ 0.03	9	164	1.3	+ 0.03	9	160	1.2	+ 0.01
10	みずほ	128	1.0	+ 0.00	10	127	1.0	+ 0.01	10	126	1.0	▲ 0.02
11	中京	119	0.9	▲ 0.00	11	119	0.9	▲ 0.01	11	120	0.9	▲ 0.10
12	▲ 京都	116	0.9	+ 0.07	13	106	0.8	+ 0.06	13	98	0.8	+ 0.02
13	↓ 紀陽	115	0.9	+ 0.01	12	113	0.9	▲ 0.00	12	113	0.9	▲ 0.04
14	ゆうちょ	85	0.6	▲ 0.01	14	86	0.7	▲ 0.03	14	90	0.7	+ 0.03
15	新三十三	69	0.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-
16	商工中金	47	0.4	▲ 0.02	16	49	0.4	▲ 0.02	16	51	0.4	▲ 0.02
17	大阪シティ信金	31	0.2	▲ 0.01	17	32	0.2	▲ 0.02	17	34	0.3	+ 0.00
17	近畿産業信組	31	0.2	▲ 0.01	17	32	0.2	▲ 0.02	17	34	0.3	+ 0.01
19	京都中央信金	18	0.1	▲ 0.00	19	18	0.1	▲ 0.00	19	18	0.1	+ 0.02
20	北伊勢上野信金	12	0.1	▲ 0.00	20	12	0.1	▲ 0.00	20	12	0.1	+ 0.00

※三十三は、2021年に経営統合したため、過去調査時の順位・社数等は掲載していない

※2021年の矢印は、2020年との比較で順位の変動を表す

※前年比の増減は、少数第3位以下も考慮している

2. 地域別シェア ～ 地元信金が社数を伸ばす ～

地域別¹にみると、「南都銀行」が全地域で50%を超えて首位となり、圧倒的な強さを見せた。他方、前回調査からは奈良市、吉野、東部の3エリアで社数が減少したほか、北西部を除く全地域でシェアがやや減少。また、「大和信金」が5地域中2地域で2位となり、中部エリアでは前回から社数を伸ばした。「奈良中央信金」は北西部エリアで2位、中部エリアで3位となり両地区で社数を伸ばしたほか、「奈良信金」も社数を伸ばし奈良市エリアで3位を維持するなど、地元信金の存在感が増していると言える。

都市銀行（メガバンク）では、旧・奈良銀行の営業基盤を継承する「りそな銀行」が全地域で5位以内に入ったほか、「三菱UFJ銀行」が5地域中3地域でランクインした。また、県外からは「中京銀行」「紀陽銀行」などがランクインした。

地域別メインバンク 上位5金融機関

【奈良市エリア】

順位	前回順位	金融機関	社数	前回社数	シェア
			(社)		(%)
1	1	南都	↓ 1,996	2,010	59.5
2	2	りそな	↑ 201	197	6.0
3	3	奈良信金	↑ 197	193	5.9
4	4	三菱UFJ	↓ 170	176	5.1
5	5	三井住友	↓ 155	162	4.6

【吉野エリア】

順位	前回順位	金融機関	社数	前回社数	シェア
			(社)		(%)
1	1	南都	↓ 1,177	1,188	79.2
2	2	紀陽	↑ 68	66	4.6
3	2	りそな	→ 66	66	4.4
4	4	奈良県農協	↑ 38	36	2.6
5	5	大和信金	↑ 18	15	1.2

【北西部エリア】

順位	前回順位	金融機関	社数	前回社数	シェア
			(社)		(%)
1	1	南都	↑ 2,548	2,537	56.7
2	2	奈良中央信金	↑ 426	411	9.5
3	3	三菱UFJ	↓ 269	274	6.0
4	4	りそな	↓ 228	231	5.1
5	5	大和信金	↑ 220	214	4.9

【東部エリア】

順位	前回順位	金融機関	社数	前回社数	シェア
			(社)		(%)
1	1	南都	↓ 308	312	66.5
2	2	大和信金	↓ 61	63	13.2
3	3	奈良県農協	↑ 19	18	4.1
4	4	中京	↑ 17	16	3.7
5	5	りそな	↑ 8	7	1.7

【中部エリア】

順位	前回順位	金融機関	社数	前回社数	シェア
			(社)		(%)
1	1	南都	↑ 2,016	2,009	61.3
2	2	大和信金	↑ 458	455	13.9
3	3	奈良中央信金	↑ 271	265	8.2
4	4	りそな	→ 123	123	3.7
5	5	三菱UFJ	↓ 110	112	3.3

※矢印は前回調査との比較で、社数の増減を表す

¹ エリアの区分は次のとおり

【奈良市エリア】＝奈良市 【北西部エリア】＝生駒市、香芝市、葛城市、大和郡山形市、大和高田市、生駒郡、北葛城郡
 【中部エリア】＝橿原市、桜井市、天理市、高市郡、磯城郡 【東部エリア】＝宇陀市、宇陀郡、山辺郡
 【吉野エリア】＝五條市、御所市、吉野郡

3. 業種別シェア ～ 奈良中央信金は全業種で社数伸長 ～

主要7業種（建設、製造、卸売、小売、サービス、運輸・通信、不動産）別の上位金融機関は以下の表の通り。「南都銀行」は、前回調査と比較すると4業種において社数が減少、4業種（建設、小売、サービス、製造）でシェアが減少するも、全ての業種で2位以下に圧倒的な差をつけトップを堅守。「大和信金」は5業種で2位となったほか5業種で前回調査から社数を伸ばした。「奈良中央信金」は「小売」「製造」で2位、「卸売」「不動産」で順位を1つ上げ4業種で3位となったほか、全業種で社数が伸長した。

主要7業種別メインバンク 上位金融機関

【建設】						【小売】					
順位	前回順位	金融機関	社数	前回社数	シェア	順位	前回順位	金融機関	社数	前回社数	シェア
			(社)		(%)				(社)		(%)
1	1	南都	↑ 3,067	3,047	64.4	1	1	南都	↓ 772	786	58.8
2	2	大和信金	↑ 360	356	7.6	2	2	大和信金	↑ 89	85	6.8
3	3	奈良中央信金	↑ 334	324	7.0	2	↑ 3	奈良中央信金	↑ 89	84	6.8
4	4	りそな	↑ 194	191	4.1	4	4	りそな	↑ 62	59	4.7
5	5	奈良信金	↑ 156	153	3.3	5	5	三菱UFJ	→ 58	58	4.4
6	6	三菱UFJ	↑ 134	131	2.8	6	6	奈良信金	→ 55	55	4.2
7	7	三井住友	↓ 96	99	2.0	7	7	三井住友	→ 46	46	3.5
8	8	奈良県農協	↑ 81	80	1.7	8	8	関西みらい	↓ 23	24	1.8
9	9	関西みらい	↓ 60	61	1.3	8	↑ 9	紀陽	↑ 23	21	1.8
10	10	中京	↓ 51	52	1.1	10	↑ 11	京都	↑ 17	16	1.3
【卸売】						【サービス】					
順位	前回順位	金融機関	社数	前回社数	シェア	順位	前回順位	金融機関	社数	前回社数	シェア
			(社)		(%)				(社)		(%)
1	1	南都	↓ 697	709	56.5	1	1	南都	↓ 2,099	2,106	66.6
2	2	三菱UFJ	↓ 105	113	8.5	2	2	大和信金	↑ 161	155	5.1
3	↑ 4	奈良中央信金	↑ 75	74	6.1	3	3	りそな	↑ 134	130	4.3
4	↓ 3	りそな	↓ 74	78	6.0	4	4	三菱UFJ	↓ 112	119	3.6
5	↑ 6	三井住友	↑ 56	53	4.5	4	↑ 5	奈良中央信金	↑ 112	110	3.6
6	↓ 5	大和信金	↓ 53	54	4.3	6	6	三井住友	↓ 85	86	2.7
7	7	みずほ	→ 33	33	2.7	7	7	奈良信金	↑ 79	78	2.5
8	8	奈良信金	→ 27	27	2.2	8	8	ゆうちょ	↓ 48	49	1.5
9	9	関西みらい	↑ 25	24	2.0	9	9	奈良県農協	↑ 33	32	1.0
10	10	京都	↑ 18	17	1.5	10	10	みずほ	↓ 28	29	0.9
【運輸・通信】						【製造】					
順位	前回順位	金融機関	社数	前回社数	シェア	順位	前回順位	金融機関	社数	前回社数	シェア
			(社)		(%)				(社)		(%)
1	1	南都	↑ 195	189	55.2	1	1	南都	↓ 839	846	57.6
2	2	大和信金	↑ 40	38	11.3	2	2	奈良中央信金	↑ 112	111	7.7
3	3	奈良中央信金	↑ 34	31	9.6	3	3	りそな	↓ 101	103	6.9
4	4	りそな	→ 18	18	5.1	4	4	三菱UFJ	↓ 99	102	6.8
5	5	奈良信金	↑ 14	13	4.0	5	5	大和信金	→ 90	90	6.2
						6	6	三井住友	↓ 41	42	2.8
【不動産】						7	7	奈良信金	↑ 33	32	2.3
順位	前回順位	金融機関	社数	前回社数	シェア	8	↑ 9	みずほ	↑ 21	19	1.4
			(社)		(%)	8	8	関西みらい	→ 21	21	1.4
1	1	南都	↑ 299	297	46.3	10	10	京都	↑ 19	18	1.3
2	2	大和信金	↑ 48	47	7.4						
3	↑ 4	奈良中央信金	↑ 45	42	7.0						
4	↓ 3	りそな	↓ 42	44	6.5						
5	5	三井住友	↓ 37	38	5.7						

※矢印は前回調査との比較で、順位の変動および社数の増減を表す

まとめ・今後の見通し

奈良県下のメインバンクは「南都銀行」が6割を超えるシェアを獲得し、調査開始以来5年連続でトップとなった。都道府県内シェアでは全国47都道府県中で、長崎県の十八親和銀行（84.3%）、和歌山県の紀陽銀行（63.7%）、島根県の山陰合同銀行（61.9%）に次いで、前回調査と同様の4位となる高いシェアを維持。さらに全地域、全業種で変わらずトップを堅守している。そのほか、「大和信金」が5地域中2地域で2位、「奈良中央信金」は北西部エリアで2位、中部エリアで3位を維持。業種別では「大和信金」が5業種、「奈良中央信金」が全業種、「奈良信金」が4業種で社数を伸ばした。

また、前回調査との比較では「南都銀行」は共同店舗化など店舗ネットワークの再編を進めていることもあって、社数・シェアともに減少。一方で、「大和信金」「奈良中央信金」「奈良信金」の3信金はいずれも社数を伸ばしていることから、地元信金としての存在感を増していると言える。特に、2020年来のコロナ禍においては、新型コロナ関連融資などをきっかけに、地銀や信金が今まで融資取引のなかった層の企業に対して融資を行うことで社数を伸ばした。さらに、事業再構築補助金などの支援機関として業態転換や新分野へのチャレンジ支援なども行っており、地域金融機関としての新たな役割も見いだしている。

倒産が減少していることから金融機関の業績は好調に推移しているものの、今後の少子高齢化による地域人口の減少や低金利政策の長期化などの課題に対し、金融DX投資やSDGs、フィージビネスへの取り組みなど本業での収益確保と経営効率化、社会的使命達成を求められることとなる。メガバンク、地方銀行、信用金庫・信用組合、政府系金融機関、ネット銀行などの棲み分けが明確になるなかで、各金融機関とも特色と強みを今まで以上に打ち出し、地域密着で企業に寄り添って地域経済の発展に努めていくことが求められるだろう。

【 内容に関する問い合わせ先 】

株式会社帝国データバンク 奈良支店 担当：野口健一

TEL：0742-26-3231 FAX：0742-27-5337

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。
著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。